

八戸工業大学 ICT を活用した教育の推進について

制定 2022年9月27日 教務委員会

更新 2025年9月 4日 教務委員会

1. 目的

ICT の利活用により、学修者本位の学修・効果的で質の高い教育の実現を目指すとともに、ICT 環境の整備を図ることを目的とする。

2. 支援体制

上記の目的を達成するために、教育・学生支援部、図書館・情報事務室が中心となり技術支援・教育支援を行う。必要に応じて工学部・感性デザイン学部・基礎教育研究センターの技師・技手と連携する。

(1) 学生向けの支援

- 学務システムの活用支援
- 学内 ICT 機器の利活用支援

(2) 教職員向けの支援

- 学務システムの活用支援
- ICT 利活用における技術支援

3. DX による学修者本位の学修の実現

DX による学修者本位の学修実現に向けた取り組みを実施するとともに、指標を設定しその達成を目指す。

(1) 取組内容

- 学務システムの修学ポートフォリオを活用し、学生の習熟度等のデータを把握し、修学状況に応じた個別履修指導の実施
- 学修状況及びその分析結果を教員等に対して可視化し、教育課程の改善を検討

(2) 指標設定

- アウトプットに関する指標

履修指導の強化

目標：学期 GPA が2期連続して 1.0 以下、または学期 GPA が 0.5 以下の全学生に対し、履修指導を実施

- アウトカムに関する指標

学生の満足度の向上

目標：満足度調査の質問項目「大学生生活全般を振り返って、満足していますか。」に対し、肯定的意見を 80%以上にする。

(3) 評価体制

教育改革委員会にて本取組の進捗状況や効果検証等について協議し点検を行う。

4. ICT 環境の整備に関する取組

ICT を利活用した質の高い教育を推進するため、以下の環境を整備する。

(1) 施設・環境整備

- ネットワーク環境の整備・強化
- アクティブラーニング対応教室への改装、必要機器の設置

(2) 学務システムの活用

- 学務システムの管理およびデータの更新

(3) 双方向型授業の推進

- HIT-LMS、クリッカー等を活用した授業の推進

5. ネットワーク・セキュリティへの対応

「学校法人八戸工業大学 情報セキュリティポリシー」及び情報メディア委員会での方針に基づき対応する。